

児童養護施設にハモ料理

防府の市民団体贈る



ハモの骨切りを実演する田中さん

贈った。

同団体は、施設の子どもたちに文房具を贈るなどの活動が続けている。贈ったのは、同市の漁業者が提供したハモ15匹を使って同市の農畜水産物加工会社「福八」が作ったコロツケをはじめ、地元産のコウイカのフライやかしわ揚げなど。

この日は元漁協婦人部の田中ヒサ子さん(79)がハモの骨切りを実演した後、約60人が会食。子どもたちは「おいしいね」と喜んで味わっていた。同園の岩城淳園長(41)は「子どもたちにとって貴重な体験でありがたい。夏のいい思い出になりました」と話していた。

防府市の市民団体「コミユニティーデザイナーズ倶楽部」(山中雅俊代表)は

29日、同市の児童養護施設「防府海北園」に特産のハモを使ったコロツケなどを